

【様式1】

団体名 南部広域行政組合島尻教育研究所	連絡先 TEL : 098-998-9561 Eメール : makoto0555@nanbukouiki-okinawa.jp
--------------------------------------	---

1 **実践事項①** 「コロナ禍に対応した研究協力員・協力園事業、小・中学校夏季自主参加講座、幼児教育短期研修のオンライン（ハイブリッド型含）開催」

2 **実践内容**

(1) **趣旨** 域内保幼公園、小中学校の教育課題と研修ニーズを把握し、大学との連携のもと、コロナ禍に対応したオンラインによる自主参加講座等を開設して課題解決及び域内教諭・保育士の指導力を高めるとともに、学校や園、教育研究団体等において活動をリードする人材を育てる。

(2) **内容**

① **研究協力員事業**

【教科領域・内容】 小学校特別活動の授業づくり ○「主体的対話的深い学び」にむけた授業づくり・評価について	兼城小 参加者 31名 光洋小（ハイブリッド方式） 参加者 23名
【講師】 沖縄大学 教授 黒木義成	津嘉山小（ハイブリッド方式） 参加者 35名
【教科領域・内容】 中学校英語科の授業づくり ○「主体的対話的深い学び」に向けた授業づくり・評価について	糸満中 参加者 16名 潮平中 参加者 11名
【講師】 琉球大学 名誉教授 大城賢	西崎中 参加者 21名

② **調査研究協力園事業**

与那原町立与那原幼稚園 参加者 31名

【テーマ】 幼児期の発達と学びの連続性を考慮した小学校教育への円滑な接続を図る。

【講師】 幼稚園担当指導主事 大城美恵子 沖縄女子短期大学 講師 名渡山よし乃 県幼児教育班指導主事 平良 奈津子

③ 『小・中学校夏季自主参加講座』（4回） 講義（90分）、質疑応答（30分）

期 日	内 容	主な対象	参加者
① 7月26日	【教科領域・内容】 小学校国語科の授業づくり ・「主体的に学習に取り組む態度」の評価について ・実践事例 【講師】 琉球大学教職センター 教授 上江洲朝男	小学校教諭 中学校教諭	71名 20端末
② 7月27日	【教科領域・内容】 算数科における授業づくり ・「資質・能力」について ・「問い」が生まれる授業 【講師】 琉球大学教職センター 准教授 上原正人	小学校教諭 中学校教諭	67名 16端末
③ 7月29日	【教科領域・内容】 SDGs と教育活動 ・ESD・SDGs の推進 ・県内SDGs 事例 【講師】 沖縄キリスト教学院大学 准教授 玉城直美	小学校教諭 中学校教諭	47名 13端末
④ 7月30日	【教科領域・内容】 特別支援教育、チーム支援について ・個別の支援計画 【講師】 臨床心理士（琉球大教育学部附属小中学校スーパーバイザー） 新垣香代子	小学校教諭 中学校教諭	68名 19端末

④ 『幼児教育短期研修』 基礎・充実・発展ステージ（各2回） 指導ステージ（1回） 自主参加講座（4回）

期 日	内 容	主な対象	参加者
5月18日	【基礎ステージ①】 年齢別担任研修 3, 4, 5歳児の発達段階・遊びとのかかわり 【講師】 沖縄県幼児教育班幼児教育アドバイザー 宜保つや子	概ね3年目	94名 48端末
6月17日	【基礎ステージ②】 特別な配慮を必要とする幼児の指導 【講師】 沖縄女子短期大学児童教育学科助教 羽地知香	概ね3年目	123名 55端末
7月1日	【充実ステージ①】 実践報告 幼児が主体的に活動できる場の工夫 【講師】 糸満市立糸満南子ども園 研究主任 金城さくら	概ね8年目	130名 61端末
9月7日	【充実ステージ②】 保育者として誇りと生きがいを持って輝くために 【講師】 前島尻教育研究所長 宮城未義	概ね8年目	97名 40端末
8月3日	【発展ステージ①】 教頭・副園長としての役割 ～質の高い保育を目指して～ 【講師】 幼児教育指導主事 大城美恵子 他 主事2名	概ね13年目	45名 39端末
10月28日	【発展ステージ②】 保幼小がチームとなつてつなぐ円滑な接続 【講師】 八重瀬町保幼小連携コーディネーター 国吉和美	概ね13年目	90名 54端末
8月19日	【指導ステージ①】 チームつかざん 質の高い保育の実現を通した園長の役割 【講師】 南風原町立津嘉山幼稚園長 濱元朝純 子どもを主体とした保育園づくりと保育者の主体性を育む 社会福祉法人 大伸福祉会 のびる保育園長 外間尚美	概ね18年目 園長等	69名 59端末
11月9日	【自主参加講座】 指導計画の作成について I・II	I 自主参加	76名
11月22日	【講師】 沖縄女子短期大学児童教育学科 講師 名渡山よし乃	II //	76名
12月7日	【自主参加講座】 特別な配慮を必要とする幼児への指導 I・II	I 自主参加	66名
12月14日	【講師】 臨床心理士（琉球大教育学部附属小中学校スーパーバイザー） 新垣香代子	II //	64名

3 **成果** 自主的、専門家招聘、コロナ感染症対策に係るハイブリッド型等形態の工夫により、先生方の積極性や向上心高め、またオンライン開催により離島からの参加者もあり、全体的に参加者が増えた。

4 **課題** オンラインのため講師から参加者の様子が見えにくく、高度なグループワークを行う事が難しい。園・学校によってネット環境（ソフト・ハード）の整備に差があり、学び合いに参加できない状況があった。